



筑摩だより

松本市立筑摩小学校

令和8年 1月 発行

松本市筑摩1-8-1

電話 25-0090

3学期がスタートしました。

冬休みを終え、1月9日（金）から3学期がスタートしました。始業式では3年生が「係活動を忘れずにやりたい」「ローマ字表を見ないで端末入力できるようにローマ字を覚えたい」と、学習や生活での目標を、6年生からは「自分の行動に責任をもちたい」「人のために動けるようになりたい」と、小学校を卒業して中学校へと進学するこれからの自分に向けての目標を発表してくれました。



3・6年代表児童の発表



6年生全員の今年の決意

44日間と短い3学期ですが、今年度のまとめと来年度の準備をする3学期です。短いからこそ目標を立ててやり遂げることができるよい学期でもあります。心や体の健康に気をつけながら、一日一日を大切に生活していけることを願っています。地域や保護者のみなさま、3学期も筑摩小学校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



重唱大会に出る合唱部の発表



学校長の話

お世話になります

大久保先生の代わりに3学期から伊藤春樹先生が4・5・6年生の理科を担当することになりました。よろしくお願いいたします。



伊藤先生のあいさつ

地域や保護者の方に支えられて

12月17日（水）に4年生が「松本てまり作り」講座を行いました。4年生は松本市の伝統文化や工芸品の学習の中で、10月2日（木）に四柱神社の舞台見学に出かけました。その時に、「松本てまりを自分たちで作ってみたい」という願いを持っていた子どもたちがいたので、市立博物館の学芸員の方から「松本てまり」について話を聞く機会も設定しました。博物館で展示品の「松本手まり」の説明を聞いた子どもたちは、「自分でもつくりたい」という思いをさらに深めていました。そんな思いが12月に実現しました。

今回の講座の実現に向けて課題となったのが、約70人の家庭科未経験の4年生の子どもたちに「手まりづくり」をどうやったら支援で

